

 <p>一般社団法人熊本市保育園連盟</p>	<h1>市保連 だより</h1>	<h2>2021 (11月)</h2>	<p>令和3年11月1日発行 一般社団法人熊本市保育園連盟</p>
			<p>発行責任者 上野 誠之</p>
			<p>企画広報委員会</p>
			<p>委員長 松下 英信 委員 今村 弘之 笠田 たつ子 坂本 純 蓮澤 哲 吉村 美穂</p>
			<p>〒860-0004 熊本市中心区新町 2-4-27 熊本市健康センター新町分室 2階 TEL(096)322-0096</p>
			<p>[第508号]</p>

この秋、ウォーク&クイズラリーを初開催

毎年、保育士のための運動会を開催していた福利厚生委員会は、コロナ禍の中で、密になることを心配し、今年度は、コロナと闘い、懸命に働く会員に、日常を忘れ、自然の中を歩くことで、心のリフレッシュを図ってもらうとともに、クイズやゲームなどをしながら会員・家族間の交流と親睦を深めていただく「ウォーク&クイズラリー」を計画しています。またミニコンサートも計画の予定です。期日は、11月13日(土曜日)午前9時からお昼まで、熊本県民運動公園をお借りして開催します。今回は、連盟会員のほか、そのご家族も対象となっております。是非、参加され楽しんでいただきたいと思います。



就職フェアは今年もWEBで終了

人材委員会では、養成校との懇談会や就職ガイダンス、求人サイト「保育のなかま」などを通して、保育士が地元で活躍できる場を紹介しています。

中でも、就職フェアは、募集する園と求職者が対面して話し合いのできる良い機会でしたが、昨年、発生したコロナのため、WEBでの就職フェアとなりました。そして、今年もコロナが収まらず、2回目のWEB就職フェアとなりました。



先般、9月11日と18日の二日間に20法人27園、保育園・認定こども園・小規模保育所が募集に集い、そしてこのWEB就職フェアに参加した求職者は、64名(養成校の学生41名・在職中16名・求職中5名・その他2名)でした。

コロナに対応してのWEB開催でしたが、参加者には高評価で、九州各地や遠くは京都府・広島からの参加者がいたり、次年度の保育実習先を探す養成校の1年生が参加したり、多種多様性がみられる就職フェアとなりました。

コロナ禍における保育の工夫 島口みのり保育園



新型コロナウイルス感染症の収束が見えない不安の中、本園でも、出来る限りの感染防止対策を行いながら保育を行っています。3歳以上児は、室内ではマスクを着用していますが、戸外遊びの際は、マスクを外し思いきり空気を吸って楽しくのびのびと活動が出来るようにしています。



また、食事の際は、飛沫予防のため対面にならないようパーテーションを活用したり、午睡中はなるべく距離をおき、顔同士が重ならないよう交互に向きを変えお昼寝をしたりと工夫しています。



保育園での子どもたちの密を防ぐことはなかなか難しいですが、子どもたち同士の関わりを大切にしながら、毎日子どもたちが帰った後の各保育室の消毒、オゾン殺菌を使っての玩具や絵本の消毒を行ったりとまだまだ先の見えないコロナとの戦いに、職員一同出来ることをしっかりと行い感染防止対策を行っています。

コロナ禍の中の通常保育 幼保連携型認定こども園 やまばとこども園



新型コロナウイルスが2019年12月に中国、武漢で初確認され、日常の保育・教育は劇的に変化しました。特に、デルタ株のウイルスは乳幼児まで感染が広がり保育現場は日々の保育・教育以外においても消毒作業等が増加し、行動制限等で気を遣う日々が続いています。



確かに、コロナ渦の中、職員のマスク着用は感染予防の観点からも必要です。しかし、子どもの発達や成長を考えるとお互いがマスクをしていることで表情が見えにくい為、言葉の遅れや、子ども達に不安を与えているのは間違いありません。このような中で、感染予防のため

万全の対策(保護者への行動自粛要請・体温管理・健康チェック等)を取りながらも、子ども達の成長や発達、経験を第一に考えて、行事等は出来る限り実施し、コロナ前と極力近い形で保育・教育を提供するのが、こども園にとって大切であると思います。当園でも会議などでの職員の意見を大切にして、出来る限りコロナ前に近い形に添うよう、努力しています。最後になりましたが、保育士、保育教諭、その他先生方の日々の努力に感謝します。後、数年は続くと思いますが皆で乗り切りましょう。未来の子供たちの笑顔の為に。

おいしく食べて大きくなろう！ 幼保連携型認定こども園 かわしりこども園



当園では保育教育の土台をなす食育に重点を置いています。子ども達が「食」に関心を持ち「食べる事」を楽しめる様、献立や行事食等を工夫しています。生活スタイルの変化により家庭では簡単に出来る物や洋風の軟らかな食事になる傾向があります。園の給食は和風の献立を中心に丁寧に汁をとり毎日 30 品目の食材を使うことを目標にしています。魚料理、豆類、海藻また、高野豆腐、切り干し大根等々の乾物を使った煮物や酢の物等。家庭では見慣れない献立で、よく噛む物も多いですが喜んで食べられる様になっていきます。子ども達も野菜の栽培をし、年齢に合わせたクッキング



キングを季節や行事と共に楽しんでいます。その経験や楽しさが保護者にも伝わり家庭での経験も増えていく良い循環が出来つつあります。コロナ禍の中、色々な制限がありますが、必要な対策をしながら「食べるのが楽しい」という体験を重ねて「生きる」意欲に繋げていきたいと思ひます。

美味しいお米をモリモリ食べて モロナイ保育園



「食べ物をお大事にする心、感謝する心」の年間計画の中から「稲作」をご紹介します。

年長児の窓から4月、苗代作りのコンバインのおじさんに手を振る。5月、代か



きが始まる。田んぼに水が入り、6月に田植え。ドロドロ、ぬるぬる、バシャバシャ、ワーワー、キャーキャーと子ども達は賑わいで田植えが終わる。梅雨の田んぼにカエルが鳴き、夏に緑の稲を渡るサワサワの風を感じている。赤とんぼが飛ぶ頃、10月に穂が黄金色になり、稲刈りをし、子どもたちは稲束を背負い抱えて帰園。それを「よいしょ！」とフェンスに掛け、日干しをする。それから、稲穂を一粒一粒手作業で脱穀をして、年の瀬に餅つきをして食べる。

年長児は田んぼで季節を感じながら稲と一緒に大きく育っている、お米のできるまでを眺めて育っている。おおきな～れ！



ぷち得情報



日常生活の中で、「もう少し楽になるといいな」ということや、「少し得した気分」となるような、ほんの些細なことだけど知ると誰かに伝えたいくなるようなものを集めてみました。皆さんでご覧ください。

気分転換にクッキングをしませんか？

平日は、忙しい日が続いたり、休日の日はコロナ禍の影響で自宅にいても多くなっていますか？時には、気分転換に新メニューのクッキングに挑戦してみたいかがでしょうか。動画で調理法を紹介してあります。是非参考にしてください。少しでも充実した日々が過ごせる力になれば幸いです。



クラシル



デリッシュキッチン



11月の予定

新型コロナウイルス感染拡大防止により
延期・中止する場合がございます。

理事会	11月2日(火)	市民会館シアーズホーム夢ホール 第7会議室
キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策Ⅲ)	11月7日(日)	くまもと県民交流館パレア 会議室1
秋のウォーク&クイズラリー	11月13日(土)	熊本県民総合運動公園 B多目的グラウンド
0,1,2歳児研修	11月17日(水)	くまもと県民交流館パレア パレアホール
園長会	11月18日(木)	市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室